

令和4年度一般選抜
個別学力試験問題(後期日程)

総合問題

(法文学部法経学科・社会文化学科)

注 意

1. 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
2. 問題紙は11ページ、解答用紙は3枚、下書き用紙は3枚です。指示があつてから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入してください。
3. 答えはすべて解答用紙の所定のところに記入してください。
4. 答えは横書とします。
5. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
6. 試験終了後、問題紙と下書き用紙は持ち帰ってください。

1

次の文章を読んで、後の問い合わせ(問1～問3)に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(出典) 中根千枝『タテ社会と現代日本』(講談社, 2019年)一部改変。

(注1) 『タテ社会の人間関係』: 同じ著者が1967年に刊行した著作。

(注2) 労働省: 現在の厚生労働省。2001年に厚生省と労働省が統合され厚生労働省となった。

問1 (B)に当てはまるもっとも適当な語を次の選択肢の中から選んで、記号で答えなさい。

- a. 個人的
- b. 自発的
- c. 偶発的
- d. 内発的
- e. 構造的

問2 日本で長時間労働や過労死が問題となる原因を筆者はどのように考えているか。200字～250字で説明しなさい。

問3 下線部Aのような日本社会の特徴がもたらす社会問題について、本文中に挙げられていない具体例を取りあげ、それが下線部Aのような特徴とどう関係するか論じなさい。

2 次の文章を読んで、後の問い合わせ(問1・問2)に答えなさい。

新型コロナウイルス感染拡大も収束し、島根大学法文学部の学科同級生(50人程度)の間で親睦を深めるため、夏休みに旅行をしようということになりました。旅行委員が5人選出され、あなたは委員長になりました。委員長としてまず他の4人の委員(A. B. C. D)にそれぞれ意見を述べてもらったところ、下記のとおり、いろいろな意見が出されています。

Aさん：京都に行こうよ！やっぱりなんといっても京都は歴史があるから、お寺も神社も町並みもみどころいっぱいあるし。それに雑貨とかスイーツのすごくいいお店もいろいろあるんだよね。もう絶対おすすめ！

Bさん：京都は遠いから交通費も宿泊費もかかるんじゃないかな？参加費高くなると参加者が減ると思う。それに京都の夏はすごく暑いし、観光地も人でいっぱいだし。近場で日帰りで涼しいところがいいよ。だいせん大山(注1)はどうかな？高原でピクニックしたら、涼しくて眺めもいいところで体を動かせて、すごく気持ちいいと思うよ。ひるぜん蒜山(注2)もいいと思う。

Cさん：それって、運動が得意な人はいいけれど、苦手な人は参加しないんじゃないかな？それに、夏の山に遠足いくとか、中学の時の林間学校みたいだし、もう少し大人っぽい旅行がしたいな。温泉へ行って、美味しいものたべて、旅館で一泊してゆっくりするっていうのがいい。そのほうがみんなで話をする時間もいっぱいあっていいんじゃない？玉造温泉(注3)とか近いしいいよね？

Dさん：温泉行くって、結局宴会するだけみたいな感じだし、それなら別に大学の近くで飲み会するのとかわらないから、旅行で行く意味なくない？玉造温泉は有名だけど、近すぎて旅行に行くって感じがしないよ。あまりにも近場よりは、もう少し遠めなところでいろいろ観光できるところがいいな。私個人的には、おきのしま隠岐島(注4)とか、行ったことがないから行ってみたいんだけど。

Aさん：隠岐島だと船に乗っていくから泊まりも必要になるし、それを考えたらやっぱし京都でもよくない？京都は遠いっていっても、みんなで大型バスを借り上げて行って、安い宿に泊まるようにすれば、案外と安いかもしれない。

(注1) 大山：鳥取県西部に位置する中国地方の最高峰(1729m)。一帯は大山隠岐国立公園に指定されている。

(注2) 蒜山：岡山県真庭市にある高原リゾートで、大山隠岐国立公園の一角を占める。

(注3) 玉造温泉：松江市玉湯町にある山陰を代表する温泉地。

(注4) 隠岐島：島根半島の北方約50kmにある諸島。ほぼ全域が大山隠岐国立公園に指定されている。

問1 一般的に、異なる意見をもつ者が含まれる集団のなかで意思決定を行う場合、

- ① トップリーダー等、ある特定の1人が決定する
- ② 多数決で決定する
- ③ 全体の合意が得られるまで議論を尽くして決定する

といった方法がとられる。それぞれの長所と短所について述べなさい。

問2 この旅行計画は、旅行委員の間で意見が割れているほか、同級生の間でも様々な意見があることがわかった。このような状況で、あなたは今後どのように意思決定を行っていけばよいと考えるか、述べなさい。

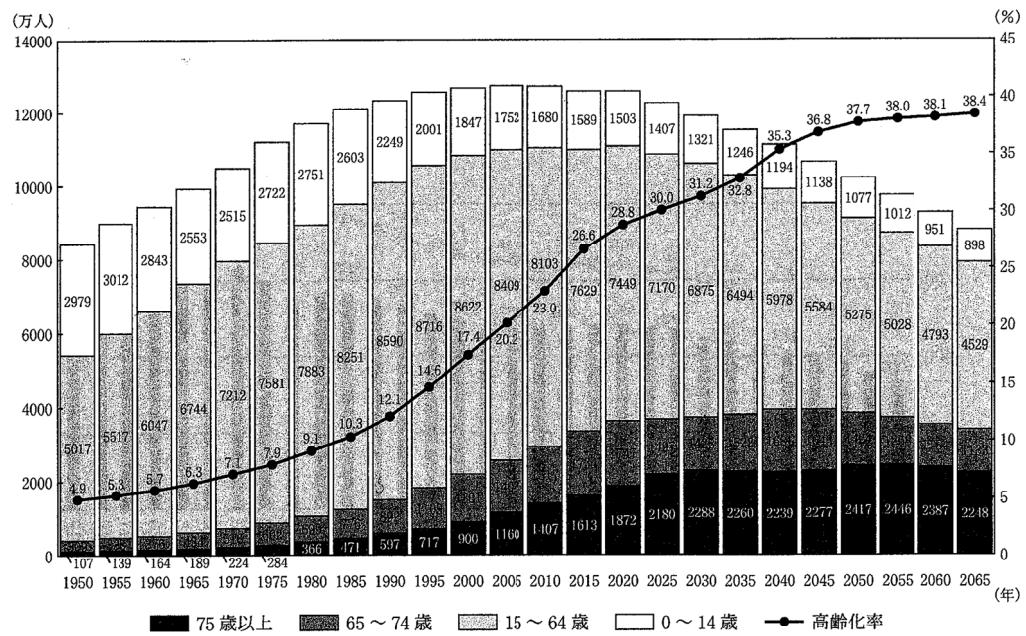
まず、問1に記載された①②③のうち、あなたはどの意思決定方法をとるかを記しなさい。そして、論述の際には、あなたが選択した意思決定方法が本来的にもっている短所を、どのように補っていくのかについても言及しなさい。

3 次の問い合わせに答えなさい。

図表1～図表5は、日本の人口動態及び高齢者(65歳以上)の交通に関する資料である。これらの図表から読み取ることができる特徴として、次の①～⑤について正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい。

- ① 2015年までの期間においては、日本の高齢化率の上昇は総人口の減少によって引き起こされてきているわけではない。
- ② 今後の推計として、2020年以降も高齢化率は上昇していくことが見込まれているが、これは高齢者人口が増加していくことが主な要因である。
- ③ 2019年の高齢者の就業者数は、1989年時点と比較すると、約8%の増加となっている。
- ④ 2010年における高齢者の交通事故での死亡率は、高齢者以外の人々の約3.3倍である。
- ⑤ 近年、高齢者の運転免許における自主返納数は増加傾向にある。しかし、2015年に免許を保持していた高齢者のうち、翌年に自主返納を行った人の割合は3%未満である。

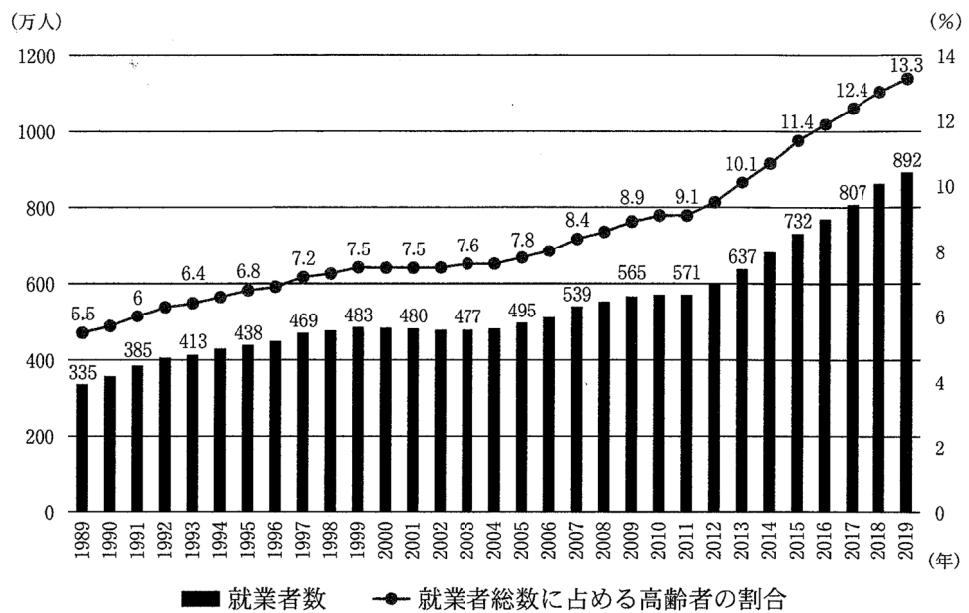
図表1 日本の人口構成の推移と将来推計



(注) 2015年以前が実績値、2020年以降が推計値(予測値)となる。

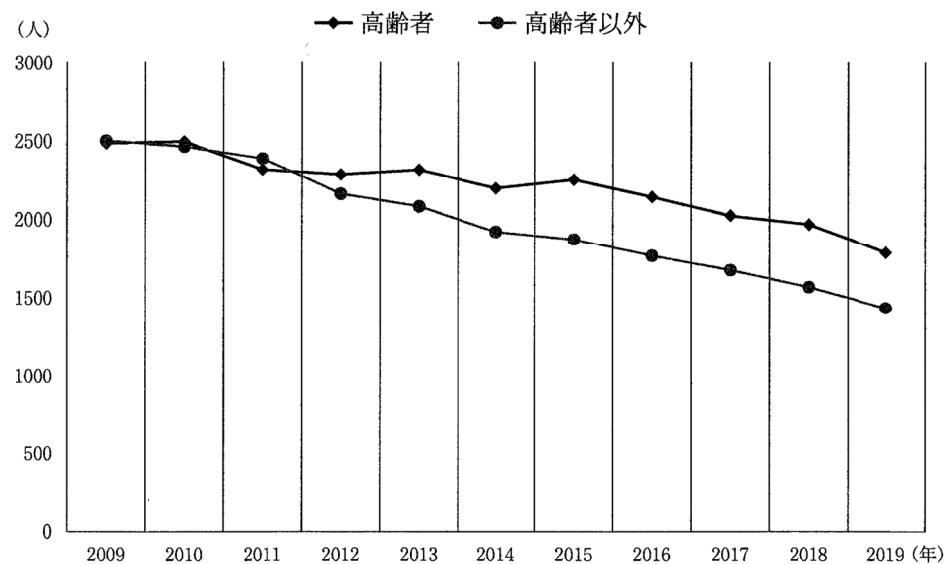
(資料) 令和3年度版高齢社会白書より作成。

図表2 高齢者の就業者数の推移



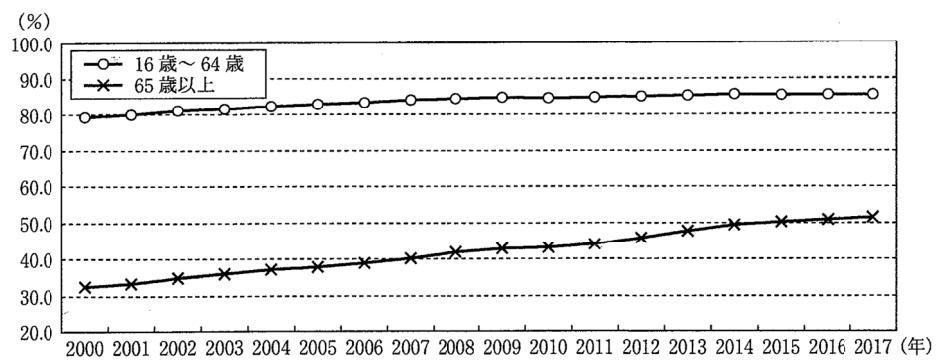
(資料) 令和2年度版交通政策白書

図表3 高齢者及び高齢者以外の交通事故死者数の推移



(資料) 令和2年度版交通安全白書

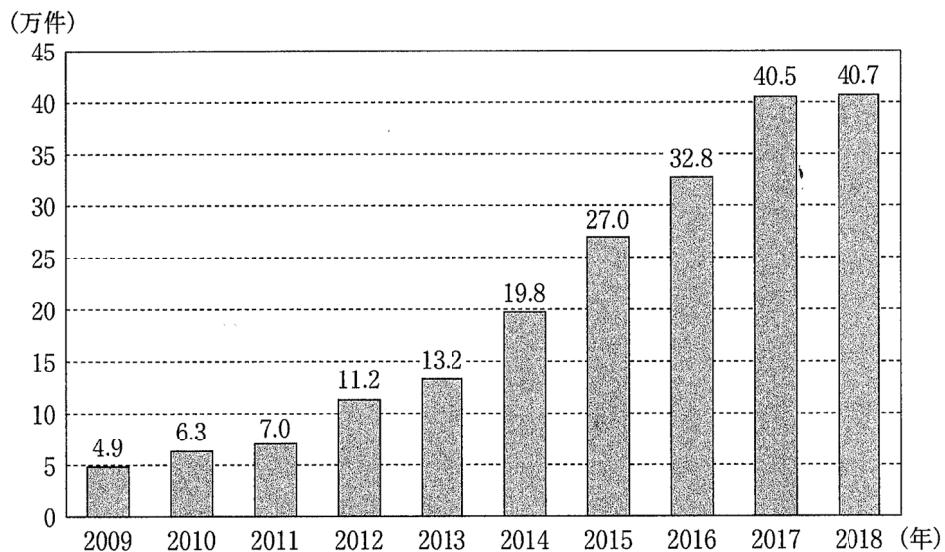
図表4 高齢者と非高齢者の免許保有率の推移



(注) 免許保有率は年齢層に占める免許保有者の割合である。

(資料) 平成30年度版交通政策白書

図表5 高齢者の運転免許の自主返納数



(資料) 令和2年度版交通政策白書